

足立明先生の経歴・研究業績

経歴

1952年 大阪府生まれ
 1972年 4 月 京都大学工学部衛生工学科入学
 1977年 3 月 同上 卒業
 1977年 4 月 大阪大学人間科学部研究生
 1978年10月 スリランカ・ペラデニヤ大学文学部社会学科研究生
 1980年10月 ペラデニヤ大学文学研究科修士課程社会学専攻入学
 1986年 9 月 同上 修了
 1986年10月 京都大学東南アジア研究センター研究員
 1989年 1 月 北海道大学文学部基礎文化論講座助教授
 1990年 3 月 京都大学農学博士
 1996年 4 月 北海道大学文学部歴史文化論講座教授
 2000年 4 月 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科連環地域論講座教授
 2009年 4 月 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科グローバル地域研究専攻
 アジア・インド洋世界論講座教授
 2011年 7 月 熊本学園大学水俣学研究センター客員研究員
 2012年 8 月26日逝去、享年59

研究業績

著書

『文化と現代世界』（春日直樹、山本春樹、鈴木岩弓、伊藤義之と共著）嵯峨野書院、1991、229p。

博士論文

Labor Exchange and Peasant Agriculture: A Case of Sinhalese Agrarian Settlements in Sri Lanka. An unpublished doctor thesis submitted to Faculty of Agriculture, Kyoto University、247+x, 1990。

論文

「スリランカの焼畑農村」『地理』27-3、1982、pp.55-60。
 「伝統農業と象徴性—シンハラ農村の事例を中心に」青木保編『象徴人類学』至文堂、1984、pp.209-220。
 「シンハラ人とその家畜飼養形態—カトリック教徒と仏教徒との対比を通して」『在来家畜研究会報』11、1986、pp.251-259。
 「スリランカの焼畑農耕技術—マータレー県マドゥマーナ村の事例を中心に」『農耕の技術』10、1987、pp.104-118（農耕文化研究振興会編『農耕の世界、その技術と文化Ⅳ：アジアの農耕様式』大明

堂、1997年、所収)

「シンハラ農村の労働交換体系」『国立民族学博物館研究報告』13-3、1988、pp.517-581。

"Hybridization of Yak and Cattle among the Sherpas in Solu and Khumbu, Nepal"『在来家畜研究会報告』14、1992、pp.79-87。

「シンハラ農村と仏教—JVP 反乱の後で」田辺繁治編著『実践宗教の人類学』京都大学学術出版会、1993、pp.327-354。

「開発現象と人類学」米山俊直編著『現代人類学を学ぶ人のために』世界思想社、1995、pp.119-136。

「『オタスの杜』の頭骨について—頭骨の背景事情(2)」『古河講堂「旧標本庫」人骨問題報告書』北海道大学文学部・古河講堂「旧標本庫」人骨問題調査委員会編、1997、pp.154-185。

「スリランカー民族と暴力」中林伸浩編著『紛争と運動』(岩波講座「文化人類学」第6巻)岩波書店、1997、pp.62-94。

「開発と農民—方法論的考察」原洋之介編著『地域発展の固有論理』京都大学学術出版会、2000、pp.87-114。

「開発の人類学—アクター・ネットワーク論の可能性」『社会人類学年報』27、2001、pp.1-33。

「開発の記憶—序にかえて」『民族学研究』67-4、2003、pp.1-12。

「人とモノのネットワーク—モノを取りもどすこと」田中雅一編『フェティシズム論の系譜と展望』、京都大学学術出版会、2009、pp.175-193。

「民族紛争」田中雅一・田辺明生編『南アジア社会を学ぶ人のために』世界思想社、2010、pp.208-217。

概説・報告書・その他

「シンハラ語研修を終えて」『アジア・アフリカ言語文化研究所通信』60、1987、pp.15-17。

「風土と農業」杉本良男編『もっと知りたいスリランカ』弘文堂、1987、pp.2-23。

「シンポジウム：『文化』にとつての『生態』」『季刊人類学』19-2、1988、pp.3-82。

「医原病・死生観・老人介護—文化人類学ノート」江口隆裕編『社会参加活動動向報告』(財)長寿社会開発センター、1992、pp.97-104。

「開発の語りと農民」『総合的地域研究』1-3、1993、pp.18-20。

「北海道らしい余暇」の語り方『豊かな自分時間の創造をめざして』「北海道らしい余暇」研究会報告、北海道生活福祉部、1994、pp.55-57。

「男と女—人間社会の文化と性」北海道大学放送教育委員会編『性と生—生きものに見る男と女』、北海道大学出版会、1994、pp.1-10。

「開発—語りと実践」『総合的地域研究』15、1996、pp.52-54。

『「開発」とオリエンタリズム』(編著)、1997、69p。

"Alternative Development: Rhetoric or Actual Practice?" *Proceedings of the International Symposium: Southeast Asia: Global Area Studies for the 21st. Century*, Centre for Southeast Asian Studies, Kyoto University、1997、pp.321-323。

「『清潔さ』『衛生』『健康』に関わる開発現象調査に向けて」内山田康編『文化と開発—枠組みを検討する』「文化と開発」研究会平成9年度報告書、(財)国際開発高等教育機構、1998、pp.15-20。

『開発言説と農村開発—スリランカ、インドネシア、タイの事例研究』(編著)平成8年度～平成10年度科学研究費補助金(国際学術研究)研究成果報告書、1999、243p。

「開発現象分析の枠組みに関する覚え書き—『科学のカルチュラル・スタディーズ』の応用として」内山田康編『文化と開発—枠組みを検討する』「文化と開発」研究会平成10年度報告書、(財)国際開発高等教育機構、1999、pp.69-82。

- 「開発政策と農民—シンハラ社会の事例から」『季刊：南アジア・構造・変動・ネットワーク』2-1、1999、pp.9-16。
- 「地域研究一人、言葉、モノのネットワークを把握する」『地域研ニュース』No.11、2000、p.4。
- 「地域に埋め込まれたものの探求」『地域研究スペクトラム』No.6、2001、p.20-21。
- 『非西欧世界における「清潔さ」「衛生」「健康」概念の変容—保健医療に関わる開発現象を中心に』（編著）平成11年度—平成12年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果報告書、2001、82p。
- "Actor-Network-Theory and Development Phenomena: Some implications for ethnographies of development". A paper presented at the Workshop: Ethnographies of Development, National Museum of Ethnology, January 28-30, 2001.
- 『開発言説と公衆衛生：スリランカ、インド、インドネシアの事例研究』平成11年度～平成13年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2））研究成果報告書、2002、92p。
- 『スリランカにおける小規模金融政策の系譜』平成13年度～平成14年度科学研究費補助金（基盤研究（C）（2））研究成果報告書、2003、74p。
- 「災害研の古机」『石田紀郎退官記念文集 水かがみ』、2003、pp.31-32。
- 『参加型開発におけるプロセス・ドキュメンテーションの研究—スリランカとインドネシアの事例を通して』平成14年度—平成16年度科学研究費補助金研究成果報告書、2005、112p。
- 『地域研究におけるアクター・ネットワーク論的な展開』平成16年度～平成17年度科学研究補助金（基盤研究（C））研究成果報告書、2006、69p。
- 「人とモノのネットワークから地域を見る」『紅萌』12、2007、pp.9-12。
- 「人とモノのネットワーク—ブラックボックス・法隆寺・共在」加瀬澤雅人・田辺明生編『技術と社会のネットワーク—研究課題と展望—』（G-COE ワーキング・ペーパー）、2009、pp.58-67。
- 「モノをめぐる水俣病事件の社会史」水俣学研究センター『水俣学通信』24号、2011、p.7。

書評

- 「多様なアジアの農業点描：家永泰光著『アジア農耕文化探訪』農林統計協会」『農業と経済』54-2、1988、p.90。
- 「K. M. de Silva; Pensri Duke; Ellen S. Goldberg; and Nathan Katz, eds. *Ethnic Conflict in Buddhist Societies: Sri Lanka, Thailand and Burma*. London, Pinter Publishers Ltd.」『東南アジア研究』31-3、1993、pp.293-295。
- 「立本成文著『地域研究の問題と方法』京都大学学術出版会」『ソシオロジ』43-2、1998、pp.91-96。
- 「田中雅一著『供犠世界の変貌—南アジアの歴史人類学』法蔵館」『人環フォーラム』16、2005、p.58。

翻訳

- メリアム K. スレイター「インセスト・タブーと生態学」『現代思想』5月臨時増刊号、1978、pp.209-229。

事典類

- 「開発と人類学」（小松ら編）『文化人類学文献辞典』弘文堂、2004、p.725。
- 「リーチ Pul Eliya」（小松ら編）『文化人類学文献辞典』弘文堂、2004、p.680r。